

2026 年度「津島高校×愛知大学 合同タイ ボランティア研修旅行」説明会

&JICA 中部「なごや地球ひろば」訪問

令和8年7月 18 日(土)

本年度の「津島高校×愛知大学 合同タイ ボランティア研修旅行」の説明会が、愛知大学名古屋キャンパスで行われました。

昨年度から始まったこの研修旅行には、本年度は本校から 1 年生 5 名と2年生 5 名の個

性豊かな生徒が参加します。その保護者と本校引率職員、そして愛知大学の参加学生を加えた約 40 名を対象に、愛知大学名古屋キャリア支援課課長の岩田正人様から説明を受けました。



岩田様からは参加費用、持参するお金、海外旅行保険、タイの医療事情などを詳しく説明していただきました。本校の保護者からは海外旅行保険の目安などについて質問がありました。

最後は、研修旅行を一緒に行う愛知大学の学生と交流をして、説明会を締めくくりました。



参加者の皆さんには出発日までに準備をしっかりと、昨年度の 1 期生に負けな

い体験を積んできて欲しいです。



説明会の後に、JICA
中部「なごや地球ひろば」
の「カフェ クロスロード」
でランチをしました。

エスニックなメニューに
参加者は舌鼓をうちなが
ら、話も弾み、打ち解けて
いきました。

食事後には、JICA 中
部の会議室をお借りして、



職員の方から国際貢献などについて全員でお話を伺いました。

初めに「世界のこと 国際協力のこと」というテーマで職員の吉川様からお話をいただきました。世界の人口は約82億人いて、国の数は196カ国あること、発展途上国のマラウイ共和国の様子などをうかがいました。



また、国際協力をする理由として、思いやりの気持ち、恩返し、支え合いというキーワードをい

いただきました。その中で、2011年度は東日本大震災の影響で、日本が世界で一番援助をもらった国だったことを知りました。

さらに、JICA の活動についても教えていただきました。その活動は市民参加協力、国際緊急支援隊、調査・研究・民間連携に渡り、身近なことから世界規模のことまで網羅していることを知りました。

2人目にパラグアイの JICA 海外協力隊経験者の奥田様から、当時の活動について説明がありました。パラグアイは、ブラジルとアルゼンチンに挟まれたグアラニー族が9割を占める国です。そこでの2年半の活動で、現地の方達と食材を販売する市場を設営したときのお話を中心に説明していただきました。

「テレレ」というマテ茶を回し飲む習慣を現地の方達と共有したことで、現地人から「友達」と認められた話など、大変興味深いお話を伺いました。

この日、参加者は、説明会から JICA 訪問まで国際理解を進める1日を経験しまし

た。この経験によって、「津島高校×愛知大学 合同タイ ボランティア研修旅行」を充

実したものに

する決意をも

つことができ

ました。



今後も津島高校・附属中学校は、真の国際理解教育を充実させ、世界で活躍する人材を輩出できるようさまざまな取組を行ってまいります。ご期待ください。

愛知県立津島高等学校 教頭 金澤 学

